

介護予防理解促進事業（介護予防広報プロモーション）業務委託
事業者選定会議における選定結果について

1 案件名称

令和8年度 介護予防理解促進事業（介護予防広報プロモーション）業務委託（概算契約）

2 選定した優先交渉権者

株式会社JR西日本コミュニケーションズ

3 契約期間

契約締結日から令和9年3月31日（水）まで

4 募集及び審査の経過

(1) 経過

- ・公募開始：令和8年3月6日（金）
- ・質問受付締切：令和8年3月23日（月）
- ・質問に対する回答：令和8年3月27日（金）
- ・参加申請関係書類の提出期限：令和8年4月6日（月）
- ・参加資格決定通知：令和8年4月8日（水）
- ・第2回選定会議（プレゼンテーション審査）：令和8年4月13日（月）

(2) 選定会議の開催日

第1回：令和8年3月3日（火）

第2回：令和8年4月13日（月）

5 選定委員（敬称略・50音順）

| 氏名 | 所属等 |
|-------|---------------------------|
| 伊吹 勇亮 | 関西大学社会学部 教授 |
| 上村 一貴 | 大阪公立大学医学部リハビリテーション学科等 准教授 |
| 村上 敬造 | 大阪芸術大学芸術学部 教授 |

6 プレゼンテーション審査

提出期限までに提出された参加申請関係書類により、参加資格の審査を実施した後、参加資格決定通知を送付した5つの事業者について、選定委員3名が、提出された企画提案書に係るプレゼンテーションの審査を行った（各選定委員100点・合計300点満点）。

(1) 評価項目（委員1名あたり）

| 評価項目 | | 評価の視点 | 配点 |
|------|-----------------------------|--|-----|
| 1 | 業務遂行にあたっての積極性、意欲、姿勢 | ・参加理由が前向きで、困難な課題に積極的に挑戦（チャレンジ）する意欲があるか。 | 5 |
| 2 | 業務目的、内容、設定課題の理解度 | ・事業の目的・内容・対象者及び本市が設定している課題を正確に理解しているか。 | 10 |
| 3 | 業務遂行にあたっての計画性・実施手順の妥当性 | ・方針や計画が事業期間内に遂行できるものになっているか。 ・効率的に事業を遂行するよう手順が妥当なものとなっており、その根拠が具体的に示されているか。 | 15 |
| 4 | 業務の実施体制（人員、個人情報保護、セキュリティ対策） | ・個人情報保護やセキュリティ対策（事故等の備え）に留意しつつ、業務遂行上必要な人員が確保され、具体的に示されているか。 | 10 |
| 5 | 設定課題に対する解決手法（実現性・創造性・有効性） | ・広報・広告効果が認められるか。 ・内容・手法が科学的に正確・妥当であるか。 ・創造的・魅力的なイベントであるか。 ・「実現可能」、「参加してみたい」と言えるイベントとなっているか。 ・動画やSNSがイベント集客に有効なものとなっているか。 | 40 |
| 6 | 業務実績 | ・本事業の各業務と同程度の内容の業務実績があり、本事業の遂行能力が認められるか。 | 10 |
| 7 | 費用積算根拠の妥当性 | ・費用の根拠が具体的に示され、提案内容と費用の関係性が明確となっているか。 | 10 |
| 計 | | | 100 |

(2) 審査を行った事業者（50音順）全5事業者

- ・大阪介護予防理解促進共同事業体
（代表者）株式会社博報堂プロダクツ 関西支社
（構成員）阪急阪神ホールディングス株式会社
- ・株式会社角川アスキー総合研究所
- ・株式会社JR西日本コミュニケーションズ
- ・電通プロモーション・H I S 福祉局介護予防広報プロモーション共同企業体
（代表者）株式会社電通プロモーション
（構成員）株式会社エイチ・アイ・エス 関西公務法人営業所
- ・日本電気株式会社 関西支社

(3) 審査の結果（委員3名の評価点合計が高い順）

| 評価項目 | 配点 | A社 | B社 | C社 | D社 | E社 |
|-----------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 業務遂行にあたっての積極性、意欲、姿勢 | 15 | 9 | 10 | 10 | 8 | 8 |
| 業務目的、内容、設定課題の理解度 | 30 | 16 | 20 | 18 | 14 | 17 |
| 業務遂行にあたっての計画性・実施手順の妥当性 | 45 | 30 | 30 | 27 | 24 | 25 |
| 業務の実施体制（人員、個人情報保護、セキュリティ対策） | 30 | 19 | 21 | 18 | 16 | 17 |
| 設定課題に対する解決手法（実現性・創造性・有効性） | 120 | 81 | 72 | 59 | 54 | 42 |
| 業務実績 | 30 | 19 | 12 | 19 | 13 | 11 |
| 費用積算根拠の妥当性 | 30 | 17 | 18 | 15 | 18 | 12 |
| 計 | 300 | 191 | 183 | 166 | 147 | 132 |

(4) 付帯意見

- ・大阪市の介護予防に係る現状と課題（高齢者のいる世帯に占める単独世帯の割合が大都市比較で最も高いこと等）をあらためて深く分析した上で、当該分析を踏まえて本事業の具体的な内容を検討されたい。
- ・本事業で実施するイベントの参加者だけでなく、社会全体で介護予防の機運が醸成されるように内容を検討されたい。